

早稲田大学

アジア共同体と朝鮮半島

実施期間：2014年4月~2014年7月

- 第1回（4月9日）： イントロダクション： 授業の趣旨・概要の説明
担当： 李鍾元（早稲田大学教授）
- 第2回（4月16日）： 歴史から考えるアジア共同体―「東アジア世界」の形成
担当： 李成市（早稲田大学教授）
- 第3回（4月23日）： 「東北アジア」の過去・現在・未来
担当： 和田春樹（東京大学名誉教授）
- 第4回（4月30日）： 「東アジア共同体」の思想と歴史
担当： 白永瑞（韓国、延世大学教授）
- 第5回（5月7日）： 中央アジアからみたアジア共同体
担当： 李愛俐俄（東京大学教授）
- 第6回（5月14日）： アジア共同体と市民社会
担当： 鄭俊坤（ワンアジア財団研究員）
- 第7回（5月21日）： アジア共同体とジャーナリズムの役割
担当： 岡本厚（岩波書店代表取締役社長）
- 第8回（5月28日）： アメリカからみたアジア共同体と朝鮮半島
担当： C・アームストロング（米国、コロンビア大学教授）
- 第9回（6月4日）： アジア共同体と日本の役割
担当： 河野洋平（元衆議院議長）
- 第10回（6月11日）： 東アジアの協調と対立―日中韓関係を中心に
担当： 若宮啓文（前朝日新聞主筆）
- 第11回（6月18日）： 中国からみたアジア共同体
担当： 黄平（中国社会科学院アメリカ研究所長）
- 第12回（6月25日）： アジアの環境協力と市民社会
担当： 李時載（韓国、環境運動連合代表、カトリック大学教授）
- 第13回（7月2日）： 南アジアからみたアジア共同体
担当： クンダ・ディクシット（ネパール、Nepali Times 紙編集長）
- 第14回（7月9日）： 東南アジアからみたアジア共同体
担当： 小川忠（国際交流基金、アジア総局長・ジャカルタ事務所長）
- 第15回（7月16日）： なぜ「アジア共同体」か
担当： 佐藤洋治（ワンアジア財団理事長）